

第二七二回松山市観光俳句ポスト

第272回開函

「櫛」名誉主宰 阪本 謙二 選

特選三句

夫恋へば螢袋の揺れてをり

千葉県松戸市 内堀 京子

マドンナのほほやはらかき青葉風

千葉県千葉市 笠井 正子

柿若葉一草庵は今日も留守

茨城県小美玉市 吉原 喜枝子

入選二十句

並走の坊ちゃん列車春うらら

大分県大分市 植山 紀子

炎天の汗のしたたる石畳

三重県松阪市 大西 慧

雨薫る若葉の上の天守閣

徳島県板野郡 岸本 晃資

明易やからくり時計踊り出す

北海道小樽市 腰原 ヨシエ

初夏の風門から門へ松山城

兵庫県川西市 阪口 眞也

花吹雪まといてめぐる道後村

愛媛県新居浜市 神野 茂子

色淡く堀にはや散る若桜

東京都練馬区 住田 辰男

夏近しさかみち登る長き影

愛媛県今治市 田鍋 千鶴

囀や足もとに鳩遊ばせて

東京都中野区 中島 松美

祭着を着こなしている少女

神奈川県南足柄市 中村 敬

庇ひ行く白衣の親子走り梅雨

愛知県一宮市 橋本 勝行

石垣の薄化粧して桜散る

愛知県豊田市 林 ますみ

子の走りしだれ桜のついて行く

東京都日野市 保永 美代子

ふくらすずめどこか似ている妻の影

広島県広島市 益田 勝博

郭公の声遠去かる若葉かな

大阪府藤井寺市 由比浜 清治

(市内)

白波を洗ひし風やみかん咲く

愛媛県松山市 田中 和子

葉桜の若木に木札若き文字

愛媛県松山市 兵頭 ゑみ

大ホールの先は図書館若葉雨

愛媛県松山市 村下 満

(十五歳以下)

空蝉のしがみつく木に猫のこえ

愛媛県松山市 小泉 柚乃

ビーカーの底へ溜まってゆく薫風

愛媛県松山市 善家 匠

(伊予灘ものがたり賞)

夏の海まるで緑の大草原

神奈川県川崎市 齊藤 碧

投句総数 一二四七

市外 九五六

市内 二九一

投句者総数 六九八

市外 五三四

市内 一六四

開函日 平成二十七年五月三十一日